

厚生常任委員会活動レポート

開催日：令和6年7月23日(火)

開催場所：1・2号委員会室

町民生活部

1. 住民生活・環境衛生事業について

根室北部広域ごみ処理施設施設整備検討報告書の概要説明を受けました。その中では、4種類の焼却方式が比較検討されていましたが、現実的な案として2案に絞られていました。

【主な質疑】

委員：現在の広域連合への中標津町の負担金額は？

担当：令和6年度当初予算で4億9200万円、4町全体で9億7900万円で当町の負担が50%近い数字となっています。

委員：生活課がこの報告書を確認したのはいつですか？

担当：広域連合の議会運営委員会が開催された4月24日に提示がありました。

委員：報告書作成に至る経緯は？

担当：現在の施設は建物を含めどれだけ持つものなのか、ガス化溶融炉は正しかったのかという議論から始まりました。当初は最新鋭で舗装資材として資源化される見込みとされていたスラグも、国の許可が下りずに販売できない状況のため、この報告書では4種類の方式による比較となりました。

中標津町単独運営等のご意見もあり比較検討は考えましたが、予算が約2倍の負担になる点や土地の選定等も考慮し、最終的にどこに落ち着かせるか時間をかけて検討していく予定です。

委員：改修となった場合、その期間のごみ処理委託先は？

担当：前回の改修時は根室市の施設で受けていただいた経緯があります。近年、新施設建設予定ということで、時期が来たら近隣施設に声かけをさせていただくことになると思います。